

## 学位申請者用ガイドライン

東京女子医科大学に学位申請をする際には、申請する博士論文がインターネットで公表可能かどうか、国立国会図書館に納入可能かどうか、ご自身で出版社との契約をご確認下さい。

博士論文は「学位規則」によって、公表が義務付けられています。平成 25 年以降、博士論文の公表はインターネットで行われることが原則となりましたが、博士論文が学術雑誌に掲載された論文で、出版社との契約によって、著作権が著者から出版社に譲渡されている場合には、博士論文のインターネット公表には出版社の承諾が必要となります。出版社との契約内容については、投稿規定、著者権規程、著作権に関する許諾契約書、License Agreement 等をよく確認し、不明な場合は出版社に問い合わせしてご確認をお願い致します。

出版元への確認事項：

1. 学術雑誌に掲載された論文を博士論文とすることの可否  
(ex. May I use my paper published in an XXXXX journal as my doctoral dissertation?)
2. 大学の学術リポジトリでの全文公開（インターネットでの公表）の可否  
(ex. May I publish my doctoral dissertation on the Internet (institutional repository)?)
3. 日本の国立国会図書館への納入の可否  
(ex. May I submit my doctoral dissertation to the National Diet Library of Japan in accordance with the legal deposit?)

もし、出版社との契約により、博士論文がインターネットで公表できない場合には、学術リポジトリには博士論文の要約のみを公表致します。国立国会図書館への納入が認められない場合には、博士論文の国立国会図書館への納入は行いません。

出版社によっては著者最終稿であれば公表可能とする場合があります。この場合は、著者最終稿（アクセプトされた元原稿で雑誌掲載レイアウトになる前のもの）を用いて学位申請を行った場合に限り、インターネットでの全文公表及び国立国会図書館への納入が可能となります。

本内容について不明の場合には、学務課 [mdaigakuin.bm@twmu.ac.jp](mailto:mdaigakuin.bm@twmu.ac.jp) もしくは学術リポジトリ担当者 [repository.bi@twmu.ac.jp](mailto:repository.bi@twmu.ac.jp) にご相談下さい。